

平成28年度 経営発達支援事業 評価・見直し結果報告書

1. 評価機関名 芽室町商工会 経営発達支援事業評価委員会
2. 開催日時 平成29年2月24日（金）正午～午後1時44分
3. 開催場所 芽室町商工会 会議室
4. 出席者
 - (1) 外部有識者 芽室町商工観光課 課長 佐藤三舟（代理 係長 我妻修一）
北海道商工会連合会十勝支所 支所長 星 圭司（オブザーバー）
 - (2) 商工会 副会長 田島浩二
商業部会長 珠玖謙一／工業部会長 千葉得功
サービス業部会長 金井裕次／理事 武藤健護
経営指導員 川岸秀光（事務局）

5. 内容

定刻となり、事務局が開会を宣し、田島商工会副会長が開会挨拶を行った後、議事に入る。

(1) 経営発達支援計画及び伴走型小規模事業者支援推進事業について

事務局は、平成27年11月17日に認定を受けた経営発達支援計画及び認定計画において交付を受けて実施した伴走型小規模事業者支援推進事業の概要説明を行った。

(2) 平成28年度事業報告について

事務局は毎年度、認定計画の実施状況を国へ報告すること及び経営発達支援事業の評価・見直しを行う仕組みとして、本委員会により PDCA を機能させていくことを説明した。

平成28年度において、経営発達支援事業を推進していく為に実施した伴走型小規模事業者支援推進事業の実施状況は以下のとおり。

①地域経済動向の調査に関すること

- ・取組内容1:既存情報（帯広財務事務所、帯広信用金庫、北海道銀行、町内金融機関との情報交換）を収集し、専門家と連携して整理・分析して情報提供を行う。

目 標:年1回以上実施

実 績:1回228件に提供

検 証 結 果:既存情報として、平成25年度に実施した景気動向調査結果と関連機関の経済情報等を考慮した情報を再分析し、報告書としてとりまとめ情報提供した。報告書の印刷が予定より遅れたため情報提供することに留まってしまった。

次年度は、巡回や窓口相談等に積極的に活用していきたい。

- ・取組内容2:地元金融機関との情報交換による情報収集及び提供を行う

目 標:四半期毎に実施

実 績:2回

検 証 結 果:町内2金融機関及び日本政策金融公庫帯広支店との情報交換により、資金需要（事業資金、生活資金）、地域の購買動向などについて情報の収集を行い、当会ホームページに掲載し情報提供した。

実施目標の四半期毎の開催はできなかったため、次年度実施については、目

標達成により、タイムリーな情報提供を実施したい。

- ・取組内容3:地域内各種団体等との懇談会の開催による情報収集

目 標:年1回

実 績:1回

検 証 結 果:本年度も、JA 芽室、芽室町議会、芽室町等、各種団体との情報交換を行い
地域経済動向の共有を実施した。

引き続き地域経済に関する意思の疎通を図っていく。

②経営状況の分析に関すること

- ・取組内容取組内容1:解決可能な経営課題の見つけ方等のセミナーの実施

目 標:1回

実 績:3回17名参加

検 証 結 果:課題解決セミナー1回、個別相談会2回開催し、延17名参加、経営分析5件実施し強み弱みの把握につながったことで、経営分析マインドの醸成が図られつつあるが、経営分析実施につながるような支援を行う必要がある。

- ・取組内容2:ネット de 記帳及び独立行政法人中小企業整備基盤機構運営の「経営自己診断システム」活用促進による簡易財務分析の推進

目 標:18件

実 績:18件実施予定

検 証 結 果:ネット de 記帳利用者に対し、経営分析結果を提示し、計数的観点から見る改善策などについてアドバイスする。確定申告相談に合わせて財務分析を実施し、計数観念の醸成と計画経営へ向けた支援に結び付けたい。

- ・取組内容3:経営分析支援（専門家の活用支援を含む）

目 標:5件

実 績:12件

検 証 結 果:持続化補助金の申請や、販路開拓を目指した経営分析を行い、自社の実態把握に貢献できた。今後は非支援者の状況にあった経営分析の提案などを行っていききたい。

③事業計画策定支援に関すること

- ・取組内容1:事業計画策定に向けた発達支援計画認定講習会及び個別相談会の開催、セミナー・個別相談会等の開催にかかる PR

目 標:1回

実 績:2回

検 証 結 果:創業セミナー開催に係るチラシによる PR 2回実施。

- ・取組内容2:事業計画策定に向けた発達支援計画認定講習会及び個別相談会の開催、専門家による事業計画策定セミナー・個別相談会を開催する。

目 標:2回

実 績:2回5名参加

検 証 結 果:持続化補助金申請を目指した経営計画策定セミナーを2回開催し5名参加した。セミナー参加のほか3件の事業計画策定を支援した。

今後は、補助金の活用以外に販路開拓を目指した支援数の増加を図っていき
たい。

- ・取組内容3:創業塾の開催による事業計画策定支援、創業塾の開催

目 標:2回

実 績:4回延19名参加

検 証 結 果:第1回:当会独自で開催し参加者1名、第2～4回は芽室町と共催し女性を対象
に実施する事で参加者が増加した。

今後は、参加者の属性に気配りを重視するなど、一人でも多くの参加を促せ
るような実施内容や、芽室町との役割分担により、当会では、創業希望者のチ
ャレンジショップ支援などの実施も効果的ではないかと意見があった。

- ・取組内容4:創業塾の開催による事業計画策定支援、ベンチャーキッズ事業の実施

目 標:1回

実 績:1回12名参加

検 証 結 果:町内小学生を対象に仮想企業を設立し経営計画を策定し販売商品を決め、
実際に販売体験を積んでもらう。当会青年部が主体となり実施しており、今後
も将来の起業家育成事業として実施していきたい。

- ・取組内容5:第二創業（経営革新）相談会の開催

目 標:1回

実 績:1回参加者なし

検 証 結 果:創業セミナーと内容が重複するため同時開催するが、第二創業を希望する方
の参加はなかった。そもそも、第二創業とは何かという側面もあるので、今後
は、興味を持ちやすそうなアナウンス方法に留意する事が必要では無いかと意
見があった。

④事業計画策定後の支援に関すること

- ・取組内容1:巡回・窓口支援等による進捗状況の把握

目 標:10

実 績:12事業者44回

検 証 結 果:持続化補助金活用事業者8件、その他簡易経営計画策定事業者4件に対する事
業進捗状況確認など実施。

補助金の活用の有無にかかわらず経営計画を策定して積極的に取り組みた
いという潜在需要は未だ未だ掘り起こせそうな状況である。中でも積極性の強
い事業者をモデル的に支援する事も有効では無いかと感じている。

- ・取組内容2:事業計画の円滑な推進を支援する

目 標:10

実 績:11

検 証 結 果:補助金採択者、補助金活用以外の計画策定者に対し、計画の着実な推進を支
援した。

当会の積極的な情報（補助事業など）の提供により経営マインドの向上を
図って行きたい。

- ・取組内容3:創業後の経営者ネットワークの活用、情報交換会、各種会議等の開催
目 標:
実 績:未実施（創業者なしのため）
検 証 結 果:

⑤需要動向調査に関すること

- ・取組内容1:既存の情報を活用した小規模事業者の主力商品に係る需要動向調査支援
目 標:情報提供
実 績:情報提供
検 証 結 果:過年度実施したお買い物アンケート結果の再分析による報告書をまとめ228事業者へ提供した。今後は、提供した上方の接客的な活用に取り、経営計画策定や新商品開発等に結び付けていくよう活用していきたい。
- ・取組内容2:過年度実施の調査結果や他の経営発達支援事業実施商工会との情報共有による需要動向調査支援
目 標:情報提供
実 績:情報提供
検 証 結 果:需要動向調査報告書と近隣経営発達支援事業実施商工会との情報交換を実施するが、情報交換は1件に留まっている（H29,2,24現在）。
- ・取組内容3:町外需要動向等のセミナーや個別相談会を開催し、招聘した専門家の指導により地域外需要動向に係る情報提供を行う。
目 標:1回
実 績:未実施
検 証 結 果:情報収集・分析等に時間を要した事もあり実施できなかった。
今後は、実施体制を整えていきたい。
- ・取組内容4:インターネットを活用した地域外売れ筋商品等にかかる需要動向情報の収集・整理・分析を専門家との連携により実施し提供する
目 標:1回
実 績:4回 228件に提供
検 証 結 果:日程テレコン POS 情報による売れ筋商品情報提供と合わせて実施
- ・取組内容5:消費者懇談会事業実施による需要動向調査
目 標:1回
実 績:未実施
検 証 結 果:商店会組織を主体として実施予定であったが、平成28年度商店会組織改編があったため、実施が困難な状況のため実施を見送った。
- ・取組内容6:日経テレコン POS の活用による売れ筋商品などの最新情報の提供を行う
目 標:四半期毎
実 績:228件に4回提供
検 証 結 果:専門家を活用して日経テレコン POS 情報と、専門家の取材等による情報収集により売れ筋商品情報を提供した。最新情報に専門家のアドバイスを付して情報提供しており、内容的にも好評である。

⑥新たな需要の開拓に資する支援に関すること

- ・取組内容1:特産品等活用した新商品開発支援

目 標:1回

実 績:1回5名参加

検 証 結 果:商品開発を目指したアイデア発想法等のセミナーを開催し商品開発に必要な知識の習得の機会を提供した。新メニューの開発も1件みられたが、他の商品開発には至らなかった。

- ・取組内容2:北海道一の消費地である札幌市内で実施される展示会、商談会情報の提供と参加者支援を行う。

目 標:1回

実 績:1回1事業者派遣

検 証 結 果:1事業者の出展支援を行った。7～8件の引き合いと1件の商談があった。出展に向けた事前準備に課題を見いだした。

- ・取組内容3:東京にある全国商工会連合会の運営するむらからまちから館への試験販売やその他首都圏で実施される展示会・商談会等への参加支援を行い、地元特産品の販路開拓を支援する。

目 標:1回

実 績:未実施

検 証 結 果:出展希望者なし

- ・取組内容4:地域のイベント等への積極的な出店及び試験販売・試食会の支援

目 標:

実 績:未実施

検 証 結 果:商品開発等の事例なし

- ・取組内容5:販路開拓にあたり、商品パッケージデザインや商品の保存性を高めるなど、専門家等を活用（小規模事業者持続化補助金等を含む）した商品力向上対策などの支援を行う。

目 標:1回

実 績:6回 延46事業者

検 証 結 果:専門家の活用により商品の見せ方や手書き POP 技術指導などを実施した。セミナーで意識付けを行い、個別相談で具体的に技術向上に係る支援を行った。

- ・取組内容6: SNS やネット販売の活用

目 標:

実 績:情報提供 228件

検 証 結 果:ネット販売参入の基礎知識等について、専門家を活用し情報提供を行った。今後、小規模事業者のネット販売の事前準備やリスク管理に役立てるよう活用することが肝要である。

- ・取組内容7:北海道経済産業局、(財)中小企業総合支援センター、金融機関等の実施する、ビジネスマッチング等への積極的な参加支援による販路等開拓支援。

目 標:

実績:未実施

検証結果:

- ・取組内容8:事業者（商品・サービス等）の紹介パンフレットの新規作成や充実等による販路拡大策を支援する。

目標:

実績:1回 2事業者

検証結果:展示会や商談会に参加できない、参加する準備の整っていない事業者向けに地域内販路開拓の支援として、地域 PR 用のチラシ作成により販路拡大を PR した。

- ・取組内容6:芽室町観光物産協会による「めむろ逸品」制度の利活用促進による新たな販路開拓

目標:

実績:1回

検証結果:新商品開発セミナーと併せて実施するも、特産品を活用した商品開発等へつながっていない。

⑦地域経済の活性化に資する取組に関する事

- ・取組内容1:町外への消費流出の抑制方法等についての検討会議の開催

目標:2～6回

実績:未実施

検証結果:商品開発を目指したアイデア発想法等のセミナーを開催し商品開発に必要な知識の習得の機会を提供した。新メニューの開発が1件みられたが、他の商品開発には至らなかった。

- ・取組内容2:食による中心市街地商店街の賑わい創出による小規模事業者 PR の促進

目標:5事業者

実績:2回開催33店舗365名参加

検証結果:はしご酒事業として2回開催、1回目16店舗、185名参加、2回目17店舗、180名参加、参加者に強制的に指定した飲食店を巡ってもらう事で、PR 効果は非常に大きい

- ・取組内容3:小規模事業者 PR と中心市街地活性化のためのイベントの実施

目標:各1

実績:未実施

検証結果:

- ・取組内容4:地域消費者と事業者特に小規模事業者とのサービスに関する意識のギャップ解消対策

目標:実施

実績:実施

検証結果:商店会事業として、「トイレどうぞ」運動を実施するが、実施効果の検証や反省事項などの把握まで至っていない

- ・取組内容5:めむろ新築・リフォーム協議会との連携による新築・リフォーム事業 PR

及び商談会の開催

目 標:1回

実 績:1回実施、その他勉強会1回11名参加

検 証 結 果:5月に商談会実施、2月に PR に関する勉強会を実施11名参加、商談会は開催回数も増えており来場者は微増、商談会の認知度向上に課題有り、事業者の PR 力の向上に課題有り

- ・取組内容6:当会販促事業の積極的推進による地域内販路の再構築①サービス意識向上（消費者との意識のギャップ解消）勉強会開催

目 標:実施

実 績:未実施

検 証 結 果:消費者とのギャップ解消の「4つのどうぞ（お茶をどうぞ、お荷物をどうぞ、イスをどうぞ、トイレをどうぞ、というサービスの視覚化事業）」の一部、トイレをどうぞ事業を実施。未検証。

- ・取組内容7:当会販促事業の積極的推進による地域内販路の再構築②100円商店街事業・年金サービスデー（現:シルバーサービスデー）事業

目 標:各1～3

実 績:各1～3

検 証 結 果:100円商店街1回開催、年金支給日に合わせたサービスデーの実施。継続的实施により好評を得ている。

- ・取組内容8:当会販促事業の積極的推進による地域内販路の再構築、中心市街地商店街活性化事業

目 標:実施

実 績:未実施

検 証 結 果:

⑧経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

- ・取組内容1:他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

目 標:各1

実 績:各1

検 証 結 果:西部十勝商工会広域連携セミナー等で情報交換を行う。

また、他の商工会の事業事例などについて情報交換を行う事で、創意工夫などにつなげていきたい。

- ・取組内容2:他の支援機関との情報交換

目 標:年2回

実 績:2回

検 証 結 果:マル経協議会等で情報交換する

- ・取組内容3:芽室町商工振興戦略会議（芽室町主催）における情報交換

目 標:年2～6回

実 績:2回

検 証 結 果:芽室町担当課との定期的な情報交換の実施により、意思の疎通が図られる。

今後も幅広い見地から連携強化を目指した実施する。

⑨経営指導員等の資質向上等に関すること

- ・取組内容1:各種研修等への派遣

目 標:各1

実 績:経営指導員（2名）18、補助員1、記帳専任職員1、記帳指導職員2

検 証 結 果:商工会職員の支援能力の向上並びに小規模事業者支援に必要な、ネットワーク形成も含めた研修会の出席により、支援能力の向上に寄与する。

(3) 平成29年度事業計画及び予算概要について

事務局は伴走型小規模事業者支援推進事業を活用して平成29年度の事業の実施概要について以下の通り説明を行った。

①次年度事業の予算額の情報が無いため未定だが、1件でも多くの小規模事業者の支援に結びつくよう予算確保していきたい。

②事業内容としては、特に創業セミナーについて、親しみある表現などを行う事で参加者の増加を図りたい。併せて、芽室町との連携を図ることで、創業希望者の支援を充実させるようにしていきたい。

③展示会・商談会への派遣は、最低でも3社以上は出展に結び付けたいと考えている。

④地域内販路開拓支援にも重点を置いて実施したいと考えている。

以上、4点について説明した。

(4) 事業の評価・見直し結果の内容について

外部有識者からの意見等は下記のとおり。

（我妻委員）創業セミナーについては、芽室町での実施の際、講師から女性のみで創業塾を実施するよう求められた経緯がある。広く一般に公募した場合、特に女性の参加が著しく低迷する傾向にある事についてアドバイスを受けた。

次年度も創業塾の実施を計画されるのであれば是非参考にしていきたい。

（事務局）例えば、伴走型の補助事業で創業支援の一環としてチャレンジショップの運営による実証実験的な事業を実施できれば、より実践的な創業塾とすることが可能ではないかと考える。

（オブザーバー、十勝支所長）チャレンジショップの運営費の予算化は可能と思います。

（事務局）次年度は、実践的な創業塾の実施計画として検討していきたい。

その他、事務局は意見等を求めたが他の委員から特に発言はなく、評価委員会を閉会した。時に午後1時44分であった。